

EX.VIEW

2000／春の新商品ご案内





インタビュー
東京御庭会会長
広田 巖氏



広田 巖氏の横顔
体建グリーン株式会社代表取締役社長
東京農業大学農学部造園学科卒
1976年 全国造園事業協同組合勤務
1979年 武蔵野種苗園株式会社勤務
1983年 独立し、外構・造園事業開始
1984年 体建グリーン株式会社設立(東京都江東区)

トレンドを探り、 ベストマッチな提案を

現在、我々が抱えている課題の一つに「お客様の情報収集と我々の対応力」が上げられます。お客様はテレビ、雑誌等からデザインや施工例を見る機会も多く、専門分野と思えるような事もかなり勉強されています。その結果として、お客様がデザイナーや設計・施工会社を指名する時代になってきましたね。価格にも詳しく、なかなかきびしい状況です。しかし市場は明るい兆しが見えています。最近全国各地で大小さまざまなフラワーショー等が開催されていますが、そうしたイベントの入場者は年々増えています。これはとりもなおさず、業界にとって潜在需要の拡大といえます。実際、ガーデニングブームは高まり続けており、当社でも、ガーデニングスペースがほしいなど、外構に関わるリフォーム需要が出てきています。また都内近郊では、建物のトレンドとして地中海風、南欧風の明るいものが増え、それに伴ってエクステリアの様式もオープン外構が主流になっています。

今後我々に求められることは、こうした新しい流れをいち早くキャッチし、お

ブランドがものを言う風土だからこそ 自らがブランドになる！

お客様の希望に沿ったところできちんとした方向性が出せる提案力と技術的な裏付けを確立することだと思います。その上で、自分たちに「何ができるか、得意とすることは何か」の情報をユーザーにどこまで渡せるかが鍵になると思います。

一方、今の時代はファッションを始めブランドが非常に影響力を持っていますね。これは安心感を求めることからくるものだと思います。そんな風土の中で我々販工店がどのようにエンドユーザーに訴えていくか…やはりそれは実績の上に成り立ったブランド力ではないでしょうか。あそこに頼めばデザイン力も技術力も間違いないという情報を地域に浸透させ、さらにより広く知らしめるPR活動が必要不可欠だと思いますね。

設計の基本は自然に学ぶ

あらゆることにアイデアが求められる時代ですが、当社が設計・施工上で工夫していることは、まず実用的でバランスの取れたデザインです。具体的には自然の造形やその原理を学び真似ることで、デザインにおいても、使用素材においても、周囲をやわらかくつつみこむものを多く

採用しています。基本的にはレンガ、自然石など、人間が長い時間「良い」と感じ、取り入れてきたものをセレクトしています。また、完成した家として見たときに、1カ所は目に付く場所(アイキャッチ・ポイント)をつくるようにしています。また、植栽の四季の変化を色彩的な効果として、有効に使っています。

集合体だからこそできる 情報収集・発信を目指す

この4月19日に東京都内で初めて御庭会を正式に発足させました。都内の御庭番導入販工店が集まってスタートさせたのですが、実際には2年ほど前から4~5回、情報交換会を開催して来ましたが、今後の活動課題は、これまでの会の内容をさらに充実させながら、お客様へのPR活動を早急に進めることにあります。会員の力を結集し、他ではまだやっていないキメ細かな情報収集と情報発信を計画・実行したいと考えています。

…将来的にはガーデニングの本の共同出版やインターネットでの情報発信活動も行っていきたいと、夢を膨らませています。



そこで過ごしたくなるようなエクステリア空間と楽しい造形
“体建グリーンブランド”を広げる作品たち

INDEX

- インタビュー／東京御庭会会長 広田 巖氏 ——— 1
- 設計ノート／スフェーレ・マイスター キシダ ——— 2
- 設計ノート／(有)大里造園土木・(株)椎橋商店 ——— 3
- 春の商品展示会・スーパー御庭番紹介 ——— 4
- 2000年春 新商品ダイジェスト ——— 5
- 御庭会通信 ——— 表4



名古屋市 A様邸



「住み手の世界がある」…そんな実感がもてる空間を目指しました

スフェーレ マイスター キシダ
Sphäre-Meister Kishida (旧名 岸田 外柵業務店)
代表 岸田李好氏 愛知県日進市

この設計のポイントは、間口のほぼ半分の幅を使った、高さ1.4m、もっとも広い所で1.5m巾の高く長く、存在感のある曲線階段です。思い切ってスケールを確保し、両脇にたっぷりの草花を持ってきた構成が、行き交う人の視線を集めているようです。

この構成の特徴は階段の踏み面および花壇をすべて違う形、大きさにしていることです。ふんだんに使っているアールもパターン化させず、一つ一つ違うものを幾重にも組み合わせています。そのため全体のバランスが破綻しないよう綿密に計算しました。さらに計画には、さりげなく「訪れる人のための当て(目標)」を組み入れています。これは階段や花壇のカーブによるもので、計算されたアールデザインが自然に歩行の流れを作り出すというものです。

また、この住宅を強烈に印象付けている草花は、量が多いだけに美しさと醜さがはっきり出るので、より美しく見せる方法として、根の張り方と茎の伸び方など、品種にあった植え方をご指導しています。



この施主様はお客様を迎えることが好きで、いつも室内を自分らしく飾っていらっしゃいます。インテリアが室内装飾であるなら「エクステリアはまさに屋外装飾」…施主様の趣向を伺い、袖門のオブジェとして、星座の彫刻が施されたタイルやエンジェルの置物を配しました。住み手のエピソードが盛り込まれた、独自の空間に仕上がっています。



千葉県佐倉市 Y様邸



色調 質感 量感など、敷地全体のバランスを重視

有限会社 大里造園土木
代表取締役 瓜生治規氏 千葉県佐倉市

Y様邸は、佐倉市郊外…大規模開発の住宅地にあり、開発計画に「美しい街並みの提供」を掲げ、緑化協定をはじめ、いくつかの条例が施行されています。当然、この町の人たちは「美しい街並みが保証されていること」を理由にこの地を選んだのですから、街並みへは高い関心があります。そこでプランを立てる上で踏まえたことは、「条例、協定を守る」「周辺の街並みと調和する」「ハイレベルなエクステリア環境の中で個性が光る」の3点でした。

その上で、施主様の希望である「家族が楽しく過ごせる庭があり、外部からはオープンなイメージに」を実現するものとして

フロントガーデンのスタイルを採用しました。敷地が広く近隣の視線にも配慮が要らないので、レンガ塀は高さ96cm、フェンスは高さ60cmとし、門まわりもボリュームを抑えています。さらに塀の上のフェンスやカーポートも透視性のあるものを選び、極力「クローズな感じ」にならない工夫をしています。

一方、この住宅外観の特徴はスペインの日差しを連想させる淡いオレンジ色で、計画当初から重要な要素となりました。この色調を個性の中心に据え、塀、門、アプローチ等に同系色のレンガを使って住宅全体のイメージを固めました。メインとなるフロントガーデンのほぼ中央をアプローチが走り、両側に芝生の庭が広がります。リビング前にはレンガ敷きのデッキを設け、アウトドアリビングを誘う空間にしています。花壇は家族で管理できる規模にし、あまり手をかけなくても、家族で楽しみながら作り上げていけるプランを提案しています。



東京都目黒区 S様邸

屋上を有効活用したアウトドアリビング



株式会社 椎橋商店
専務取締役 椎橋兼房氏 東京都目黒区

S様では「庭は望めないまでも外で過ごす場がほしい」という希望が強く、屋上の活用を提案しました。屋上全体の面積は110㎡と広く、アウトドアリビングとしては十分なスペースといえます。

屋上庭園は、テーブルを囲んでバーベキュー等を楽しむリビングスペースと家庭菜園ができるガーデンスペースで構成されています。リビング側には木製の床を設置していますが、木材には長年の耐用を考えて防腐処理を施し、ステンレス製ネジを使いました。また、お子様たちが幼いので周囲のフェンスは隙間の狭いものを使い、床下にも入れないように配慮しました。周囲の視線はあまり気にはなりません、住宅が隣接している面だけは、目隠しとリビングの雰囲気づくりにラチスを使っています。

六千二百人のご来場ありがとうございました

「春の商品展示会」

4月11日・名古屋会場（名古屋中小企業商工会館 展示ホール）
3月25・26日・東京会場（T・R・Cアルーンホール）
3月23日・大阪会場（オオサカサンパレス・オービットホール）



先般提案します！三協アルミから「21世紀の新ゆとり・新快適な空間を」と題し、大阪・東京・名古屋の3会場でエクステリア春の商品展示会を開催しました。少子高齢化社会の到来、ガーデニングの定着など、迎える21世紀の住環境に対して、当社としてどのようなメッセージを発信していくのか…をコンセプトにお客様のビジネスチャンスを広げる商品群をご紹介します。各会場とも予想を上まわるお客様のご来場をいただき、今後の商品開発への指針となる貴重なご意見を多数いただきました。お忙しい中、今回の展示会にご来場いただきました方々に、厚く御礼申し上げます。



東京会場でのテープカット



ガーデンエクステリア専用CADシステム

「スーパー御庭番」 3Dカラーシステム

魅せる3次元カラーパースを即作成！

スーパー御庭番は、従来の新御庭番の良さをそのまま生かし、3Dカラーシステムの操作を統合した、弊社が自信をもってオススメするエクステリアプランニング専用のCADシステムです。



デモンストレーション風景

大阪・東京・名古屋で開催された「エクステリア春の商品展示会」で、スーパー御庭番のデモンストレーションを行いました。ご来場のお客様には、実際に操作を体験していただき、「使いやすい」「仕上がり図面がキレイ」など、大変高い評価をいただきました。



大阪会場

エクステリア ファサード システム

メロディア

パーツユニットや既存商品の組み合わせで
オープンからクローズまで幅広い
オリジナル外構の提案が可能です。

門柱・ポール

ポストユニット

照明 (既存品)

ポスト (既存品)

パネルユニット

格子ユニット

フェンス (既存品)

門扉 (既存品)

メッシュアーチユニット

門廻りグッズ (既存品)

ユニット門柱『オルディーニ』

高級感ある小端積み調デザインです。



カーポート『エクオーレワイド』

サイドまで回り込んだ屋根が特長の2台収納専用タイプです。



機能を充実させてリニューアル!

機能門柱KB型



型材門扉『ニューエクモア』シリーズ

使いやすいベーシックデザイン全11タイプをリニューアル

アウトドアリビング

ドリームスペース

部屋の外に、もう一つの小さな家

新しい生活を楽しむ 夢空間へようこそ

ドリームタイプ

未利用空間を最大限に活用し、デッドスペースを夢空間につくりかえます。

出幅サイズ3尺4尺5尺



ウッドデッキタイプ

広々スペースとして開放感あふれるリビングスペースをつくりだします

出幅サイズ6尺9尺12尺



アウトドアリビング プレオーレ

四季を通じて光と風を心ゆくまで満喫できる、フルオープン・フルクローズの快適アイテムです。



テラス カフェヌーン

基本フレームを全面に通した斬新なフォルム。スクリーンの自由な組合せがライフシーンを多彩に広げます。



パブリックエクステリア

ゴミ収納庫 **ダスティン** きれいな環境を保つ、機能的で使いやすいゴミ収納庫を揃えました。

パネルタイプ

直線基調のシンプルなデザインが周囲の景観と調和します。



ボックスタイプ

コンパクトなサイズは、個人店舗など設置スペースが限られた場所に最適です。



おにわかい つうしん
御庭会通信



情報交換会
会場風景

●千葉・茨城地区 御庭番情報交換会——2月23日成田ビューホテル

千葉・茨城地区において御庭番情報交換会が実施され、あわせてタウンスケープデザイナーとよだみき先生の「ガーデンデザインの現状と今後の方向性について」の講演会が行われた。

●東海御庭会 総会開催——3月8日浜松名鉄ホテル

東海地区では御庭会総会が実施され、今回は(有)ヒューマン馬木先生による講演会が行われた。当講演では「縮小傾向にある住宅市場において、今後どのようにエクステリアプランニングを提案すべきか」について、実例をもとに語られた。

●中国御庭会 総会開催——3月23日オオサカサンパレスホテル

中国御庭会総会が開催され、スーパー御庭番についての活発な意見交換が行われた。総会終了後、同一会場で行われていた関西地区商品展示会を見学。

●四国御庭会 総会開催——4月12日リーガロイヤルスホテル新阪

四国御庭会では、発足後はじめて四国地区施工コンテストが行われた。各会員がスーパー御庭番で作成したプランニング図面と実際の施工写真を持ち寄り、プランニングの工夫・仕上りの美しさを競った。

また総会後には、「マイアウトテリアづくりのすすめ」をテーマに(株)イカリ設計の猪狩先生による講演が行われた。



施工コンテスト
の表彰風景

●東京御庭会 総会開催——4月19日明治生命館

東京地区では新たに御庭会が発足した。会長には体建グリーン(株)の広田社長、副会長には東海総業(株)の東海林社長が就任された。また、あわせてスーパー御庭番のバージョンアップ内容についての概要説明が行われた。

おにわばん
御庭番スタッフ紹介

横浜市瀬谷区橋戸 有限会社ヨコハマリード

お客様のレベルが高いご要望に
スムーズに応える御庭番



工藤様 (現場管理ご担当) 佐藤様 (御庭番ご担当)

佐藤 恵子様

エクステリアの設計に取り組んで9年…この間に、お客様の求めるエクステリアのスタイルもずいぶん変わりました。

“完成された庭じゃなく下地だけを整えてほしい。あとは自分たちが手作りで楽しみたい”といったご要望も多くなってきたので、私どもでは庭の基本的な設計・施工にとどめて、後はその都度、色々とアドバイスをさし上げることにしています。またお客様の持つ情報量も年々多くなって、こちらも常に勉強しなければご要望にお応えできないほどです。ここ数年忙しくなってきたことも合わせて、ガーデニングは単なるブームじゃないように思えます。

「御庭番」を使い始めて3年…手描き図面のころと比べると、質・スピードともに大違いで、度重なるご要望の変更にも効率よくお応えできます。お客様との打ち合わせ、御庭番での設計提案、現場の施工管理とめまぐるしい毎日です。

工藤 裕二様

画竜点睛、エクステリアの真髄を日々全うできるように心掛けて仕事しています。



代表取締役社長
西川 和臣様

建売り住宅の外構工事を請け負うことが多いのですが、当社のモットーである「お客様の立場でモノづくり」が過ぎて、見積額を超過することもしばしば…。

でも提案力やスムーズな作業を支援する御庭番のお陰で、設計提案がうまく運んでいるといっても過言ではありませんね。

三協アルミ